令和3年度行政評価(補助金等の見直し)の概要

背景

補助金交付基準

同一団体への補助は4年を目途として見直すことと している。

第8次総合計画

基本計画を4年毎に見直すこととしている。

行財政改革推進 プログラム2020 各種助成制度の見直しに取り組み, 3年間で9千万円の財源を確保することとしている。

評価の視点

「必要性」と「効果」

市に裁量のある全補助金等約300本 (R3新規、企業会計への繰出を除く)

各部局による一次評価

- > 交付基準との適合性の判定
- ▶ 必要性,効果等の判定

行政評価検討会議による二次評価

(副市長、総合政策部長、行革担当部長を中心に構成)

最終評価(継続・見直し・終了)

令和4年度予算へ反映

ー次評価の対象から抽出した補助金等約20本

行財政改革推進委員会による外部意見聴取

- ▶ 透明性・客観性の向上
- ▶ 市民の視点からの意見

目指す状態

補助金等に係る行政サービスの水準の適正化が図られ、 財政の持続可能性が確保された状態

